学校番号	２１５

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)現代の世界史	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説世界史」　（山川出版）						
副教材等	アカデミア世界史(浜島書店)　山川世界史一問一答(山川出版社)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の歴史に関する基本的事項を正確に理解した上で、歴史の流れの中での人間の営みを捉え、現代社会を理解し問題を解決する力の基礎をつくる。
・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に対して「なぜ」という考えを持つ。
・世界史を学ぶ中で、現在の日本のあり方を考え、成立過程を知る。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界の歴史を地理的条件や、日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に生きる上で必要な知識と歴史的教養を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
諸資料に親しみ、歴史的判断力を培う。
【思考力、判断力、表現力等】
事象に対しての、原因と結果を歴史的視点から考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
現代における世界の課題の成立過程を学び、今後の世界のあり方を考える。
近代～現代における世界の課題の成立過程を学び、今後の世界のあり方を考える。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界史における世界の基本的な出来事を、歴史的条件はもちろん、地理的・日本との歴史、現在の世界と関連付けながら理解し知識を身につけている。	現代世界の諸課題を、歴史を踏まえながら考察し、公正な判断力を持ってその過程や結果を適切に表現している。	近代～現代を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、なぜそうなったかを意欲的に取り組む。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	アジア諸地域の動揺	・西アジア地域の変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動	a: 18 世紀以降のアジアに関する基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付け、諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 b: 近代以降のアジアについて、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を公正に判断し適切に表現している。 c: 近代以降のアジアについて関心を高め、主体的に探究しようとしている	定期テスト	定期テスト ワークシート	小テスト
	帝国主義とアジアの民族運動	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立 ・アジア諸国の改革と民族運動	a: 世界史の諸課題について理解するとともに、史料から有用な情報を適切に選択して効果的に活用している。 b:帝国主義の実践の場としてのアジアをどのようにとらえ、考えればよいのか、史料をもとに適切に表現している。 c: 各地域の特徴・しくみ・他地域との関連性など自ら進んで課題を考えることができる。	定期テスト	定期テスト ワークシート	小テスト

2学期	二つの世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第二次世界大戦	a: 学習で得た知識・技能を活用して諸史料をもとに考察し、その過程や結果を適切に探求している。 b: 現代の出発点となる二つの世界大戦について、経済的・政治的に興味を持ち、深く追求し、学習した内容と合わせて、世界の歴史の大きな流れについて、深く関心をもっている。 c: 二つの世界大戦がなぜ起こったのかについて深く関心をもち、積極的に考えようとしている。	定期テスト	定期テスト ワークシート	小テスト
	冷戦と第三世界の独立	・戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 ・米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ・第三世界の台頭と米ソの歩み寄り ・石油危機と世界経済の再編	a: 冷戦構造について史料や地図・図版などを活用できる。 b:冷戦を支えた米ソの同盟国についても考え、関心を持ったことを積極的に表現することができる。 c: 世界史の諸課題について理解するとともに、資料から情報を得て現代の問題として積極的に考えようとしている。	定期テスト	定期テスト ワークシート	小テスト
3学期	現代の世界	・社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 ・途上国の民主化と独裁政権の動揺 ・地域紛争の激化と深刻化する貧困 ・現代文明の諸相	a: 冷戦後の世界が混迷を極めた原因についてその知識を身に付け、諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 b: 冷戦後の世界が混迷を極めた原因について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を公正に判断し適切に表現している。 c: 冷戦後の世界が混迷を極めた原因について、現在まで続く課題に対する関心を高め、主体的に探究しようとしている	ワークシート	ワークシート	小テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度